



COMPASS

泰日協会学校

バンコク日本人学校

進路指導部

進路説明会第2回 2018.9.4

進路説明会第2回は昨年と違い、親子合同で行う形にしました。この時点で、「進路決定における心構え」や「出願の手続きの流れ」を、保護者だけでなく生徒自身が把握していくことで、見通しを立てさせ、より主体的な進路選択につながると考えたからです。話をしている最中は最後まで集中して聞いた生徒がとて多かったですように思います。

学校が1学期にお願いしたとおり、多くのご家庭が「家庭で責任をもって出願の準備をする」という基本姿勢ができていくことが、生徒にとってより良い進路選択につながっていくと思います。今後ともご家庭でよく話し合い、学校と連携しながら、この試練を共に乗り越えられたらと思います。



模擬面接の様子とアドバイス



現在、中3生徒が休み時間に年内入試で面接試験がある生徒を中心に「第1回模擬面接」を行っています。面接官は、生徒が日頃話をする機会の少ない校長先生や小中学部の教頭先生です。ほとんどの生徒が緊張感をもって取り組んでいますが、質問にうまく答えられない場面が多々あるようです。また、具体的な内容について聞かれるとうまく答えられない場合もあるようです。既に配布している「面接の達人」を参考に、もう一度自分の考えをまとめ、友達や保護者の方で練習するとよいでしょう。その際、下書きを丸覚えするのではなく、要点をまとめておくのがポイントです。また、海外での経験やその中で考えたことをしっかりとアピールすることが大切だと思います。さらに、希望校のパンフレット等をもう一度見ておくことも大切です。面接官をしていただいた各先生方からアドバイスをいただいているはずですので、それをしっかり受け止めて自分の力にしていきましょう。なお、年明け入試の生徒を中心とした「第2回模擬面接」は11月中旬から行います。第1回を申し込んでいない中3生徒が申し込みます。〆切は10月31日(水)です。

最近入荷した書籍 3日間貸し出し可能

『全国高校2019年入試問題正解』(5教科)

全国の公立高等学校の昨年度の入試問題が掲載されています。また、国立大学附属高等学校や私立高等学校の問題も掲載されているので、力試しに挑戦してみてもいかがでしょうか。



『最近5年間 公立高校入試問題』

公立高等学校の過去5年分の入試問題が掲載されています。各都道府県の出題傾向や対策が分かるので、自分が受検する予定の都道府県のを借りてみませんか。

【現在、進路相談室にある書籍】

熊本 茨城 栃木 埼玉 千葉 東京 神奈川
京都 大阪 兵庫 山梨 山形 宮崎 香川 三重
長野 宮城 北海道

【今後入荷予定の書籍】

富山 鹿児島 静岡 福岡 奈良 大分 石川



よくある質問 Q & A

Q.本人だけが、日本国内の祖父母（又は親戚等）の家に転居して、高等学校を受検することはできますか。

A.全日制の高等学校を志願する場合は、保護者とともに居住することが条件となりますので、受検することはできません。ただし、特別に許可された高等学校については、保護者の転居がなくても志願を認める学校もあります。また、身元引受人を認める都道府県や、1年以内に保護者が帰国できることを条件に認める都道府県もあるようです。

Q.高等学校に入学願書等を提出する（以下「出願」とする）前に住民票を異動する必要がありますか。

A.少なくとも出願前に住民票を異動しないでください。あまり早く住民票を移すと、異動先の現地中学校に在籍義務が発生し、卒業場所が変わってしまう場合があります。高等学校へ提出する調査書は、最終在籍校からの調査書となりますので、この場合本校で作成した調査書が無効になってしまいます。住民票を移すタイミングについては、3月下旬あたりからその手続きをするご家庭が多かったように思いますが、異動先の自治体に相談するなどして、異動先の現地中学校に在籍義務が発生しないようにしてください。

Q.公立学校を海外から受検する場合には、どのような手続きが必要ですか。

A.全日制の高等学校の場合は、出願の前に、都道府県教育委員会への申請手続きが必要となることが多いです。必ず、各都道府県教育委員会のHPで確認するか、問い合わせる等で確認をしてください。

Q.公立の出願に必要な書類は、郵送で取り寄せることはできますか。

A.出願に必要な書類は、12月頃にある説明会で配布される都道府県や、郵送で送ってくれる都道府県、本校からの取り寄せとなる都道府県など様々です。申請手続きの際に、書類に不備があると志願を受け付けてもらえませんので、こういったことも十分に各都道府県教育委員会で確認していただくしかありません。

Q.海外から受検する場合は不利になりますか。

A.入学選抜は、すべての受検者について公正に行われるべきです。海外からの受検者が不利に扱われるのであれば、それは大きな問題といえるでしょう。

Q.公立の出願書類の受け取り方法と合格発表時の書類受け取りはどのようにすればいいですか。

A.各都道府県によって、受け取り方法が違います。海外からの受検という特別な事情ですので、なるべく各ご家庭で高校と直接やりとりできる形の方が手続きがスムーズなのでなるべくご家庭にお願いしております。ただし、委任状が必要であったり、その形式が決まっていたりしているケースも多いです。委任状を活用することで保護者が書類を受け取れることも多いですので、問い合わせるなどして十分な確認をお願いいたします。

Q.年明け入試ですが、年内に出願書類を受け取らないと間に合わないのですが。

A.年明けに入試があるが、出願期間切れが1月初旬で出願書類が年内（12月中）に必要な高等学校がある場合、学校作成書類の依頼を11月中までにさせていただくしかありません。12月に入って依頼されたものを、12月中に返却するのは不可能ですので、見通しをもって準備をお願いいたします。ただし、どれだけ見通しを立てても、スケジュール的に無理が生じた場合、早めに担任にご相談ください。

Q.学校へ出願依頼をするとき、依頼封筒に「募集要項」「願書」は最低限必要という説明がありましたが、最近WEB出願が増えて、紙の願書そのものが存在しない場合はどうしたらよいですか。

A.その場合は、依頼封筒に「願書はWEB出願のため無し」などと記入いただき、募集要項だけを依頼封筒に入れていただく形でも対応いたします。

Q.バンコク日本人学校を卒業したいが、今すぐインターナショナルスクールへ正式な在籍は可能でしょうか。

A.本校の卒業認定を受けるのであれば、3月31日まで本校在籍扱いです。また、本校は2重在籍は認めていません。

Q.4月からインターナショナル校への進学予定です。英語に慣れさせるために、早めにインター校へ通わせたいのですが、その場合の出欠席の扱いについて教えてください。

A.インターナショナル校への進学予定者が、語学研修を受けるためにインターナショナル校へ通学した日は、欠席届（HPにある様式集、別紙3）の提出によって、中学部3年3学期に限っては、本校登校日を出席扱いにできます。